

伊豆シャボテン動物公園

ミナミコアリクイ 4 兄妹に弟が誕生！ ～ 人工哺育ですくすく成長中、もうすぐ一般公開 ～

2021 年 9 月 10 日

株式会社伊豆シャボテン公園



伊豆シャボテン動物公園では、2021 年 8 月 17 日(火)に誕生したミナミコアリクイの赤ちゃんを人工哺育しており、現在、生後 3 週間を過ぎて順調にすくすくと育っています。

赤ちゃんはオスで、父「ドン」(推定 13 才)と母「ココア」(9 才)の間に誕生しました。複数回の出産を経験して次第に母性が見られるようになった母「ココア」は、誕生当日には赤ちゃんを抱っこして世話をしていました。しかし、翌日の午前中に赤ちゃんを放置してしまい、生命にかかわる危険性があったため飼育員が保護し、保育器に入れて人工哺育を開始することとなりました。以降、飼育員が親代わりとなり 1 日 5 回約 3 時間おきに授乳を続けており、保護当初は 369g だった体重も現在は 780g を超え、順調に成長しています。

今後は、両親や兄弟のもとへ戻れるよう「顔合わせ」を続けるとともに、保育器をミナミコアリクイ展示場の一角に設置して 1 日 4 時間ほど過ごすことにより、展示場の環境にも慣れる訓練を行います。それから、離乳期が終わる 3～4 ヶ月ほどを目途に、徐々に家族のもとへ合流できるよう目指します。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部
TEL:0557-51-1115(代) URL:<https://shaboten.co.jp/>
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4



— ミナミコアリクイとは —

【学名】 *Tamandua tetradactyla*

【英名】 Southern tamandua, Lesser anteater

【分類】 有毛目オオアリクイ科コアリクイ属

【分布】 ブラジル、ベネズエラ、パラグアイなどの南米中部

【体長】 頭胴長 35～90cm、尾長 35～70cm

【体重】 3.5～8.5kg

【生態】 黒色のベストを着ているように見える背中の V 字型の模様が特徴。樹上で生活をするため、尾の内側に毛は生えておらず木に巻き付けて移動ができる。前肢の大きなカギ爪も特徴で、この爪は木登りだけでなく威嚇をしたりアリ塚を壊したりするのに役立つ。壊したアリ塚やハチの巣から、アリ、白アリ、ハチなどを 40cm ほどにもなる長い舌を使って舐めとるように食べる。最近の研究では、ミナミコアリクイのメスは平均して約 44 日間の発情周期があることが分かっており、妊娠期間は 130～190 日ほど、1 回の出産で 1 頭の子を産む。

★★★ 赤ちゃんの名前決定 ★★★

父「ドン」、母「ココア」の名前にちなんで名づけられた長男「コン」、次男「ト」、長女「アン」、親子兄弟との絆や繋がりが続くよう名付けられた三男「ケイ(繫)」、そして今回誕生した赤ちゃんは「イク(育)」と名付けられました。この名前には、母性が“育”ち始めた母親「ココア」が、この先も子を“育”む母としてしっかりと成長して欲しい、そしてこの子も立派にたくましく“育”って欲しいという、母子への願いが込められています。

■ 赤ちゃんは頭胴長約 27cm、尾長約 17cm、体重 789.5g (2021.9.9 現在)

■ ミナミコアリクイの赤ちゃんは、生後初日から体調により閉園後の「ミナミコアリクイ展示場」にて、飼育員が介助しながら両親や SNS で話題となった“4 兄弟”「コン」「ト」「ケイ」「アン」との顔合わせをしています。

■ 今後は、「ミナミコアリクイ展示場」を仕切った一隅に保育器を設置し、赤ちゃんの日々の体調や気温なども考慮しながら 1 日 4 時間ほどここで過ごすようになります。タイミングが良ければ一般のお客さんも、保育器の中で過ごす赤ちゃんの姿を見ることができます。離乳期が終わる 3～4 ヶ月後を目途に、徐々にファミリーの元に戻れるようにしていきたいと考えています。



母「ココア」との顔合わせ中の四男「イク」



左から長男「コン」、三男「ケイ」、次男「ト」



まだ幼いころの長女「アン」をおんぶする三男「ケイ」

※“顔合わせ”訓練は、その日の天候や動物の体調に合わせて時間が変わります。また、中止する場合がありますのでご了承下さい。

伊豆シャボテン動物公園

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1317-13

TEL:0557-51-1111(代)

URL:<https://izushaboten.com/> ※詳細はホームページをご覧ください

【入園料金】中学生以上 2,400 円、小学生 1,200 円、幼児(4 歳以上)400 円